

7 語学研修及び留学プログラムについて

語学研修及び留学プログラムについて

経営学部では、経営についての研究・教育を中核としながら、国際社会で活躍できる人材を育成することを教育目標の一つに掲げています。外国語の学習はもちろん、異なる習慣や生活の仕方を学び、異文化を理解し、視野をひろげることが重要な課題です。そのような国際教育の一環として、本学部では短期及び中・長期の海外留学の機会を学生に提供しています。

【スタディー・アブロード・プログラム】

スタディー・アブロード・プログラム（SAプログラム）とは、約1ヶ月間、海外に滞在し、その地域の言語と文化をその地域にある現地の大学で学ぶプログラムです。SAプログラムは9カ国（イギリス、カナダ、オーストラリア、アメリカ、スペイン、フランス、オーストリア、中国、韓国）で実施されてます。

滞在中、午前は主に言語の学習、午後はさまざまな活動を通して、現地の人々と交流し、さまざまな場所を訪れ、現地の社会や文化を学びます。

SAプログラムは、推薦語学研修等とは異なり、本学部のカリキュラムの一部として位置づけられています。SAプログラムに参加するためには、経営学部の「国際社会と異文化理解ショップ」内の科目を履修することが前提となっています。

なお、SAプログラムは時期によって実施地域が異なり、前学期（夏季休業中に実施）はイギリス・カナダ・オーストラリア・スペイン・フランス・オーストリア・中国、後学期（春季休業中に実施）はアメリカ・韓国です。

SAプログラムに参加するためには、SAプログラムに参加する学期以前に、希望する地域の言語(外国語科目)を、原則として4単位以上修得していなければなりません(注1参照)。SAプログラムへの参加には費用がかかるため、入学段階より履修計画を立てて準備する必要があります。

外国語科目の修得(履修)を前提として、次に、経営学部開講「国際社会と異文化理解ショップ」内の以下の3科目を同じ学期に履修します。

「国際コミュニケーション」(2単位) → 本学での学習

「スタディー・アブロードⅠ」(2単位) → 本学での学習

「スタディー・アブロードⅡ」(2単位) → 現地での学習

なお、SAプログラムにおいて学習した言語については、「外国語(SA)」(2単位)として単位認定されます(「外国語」の部分は実際に学んだ言語名称となる)。この「外国語(SA)」は経営学部専攻科目の選択外国語科目として単位認定され、卒業要件単位に含まれます。

上記に加え、2017年度から次の新しいSAプログラムが始まっています。

(1) SAプラス・プログラム

カンザス大学のSAプログラム終了後、3週間、カンザス大学周辺の非営利団体、ローレンス市行政機関にてインターンシップを行います。プログラム全期間は、インターンシップを含めて7週間となります。

履歴書の書き方、ビジネスマナー、インタビュー(面接)対策、出願方法などの準備から、インターンシップ後の報告書の書き方、プレゼンテーションの準備やお礼状の書き方までが研修の一環として行われますので、インターンシップに初めてチャレンジする学生であっても、安心してインターンシップに臨むことが可能です。インターンシップの準備過程は、自分と向き合い、将来のキャリアプランを考える貴重な時間ともなります。単なる就業体験ではなく、異文化社会において働くことの難しさや達成感を体験することは、日本での就職活動にもきっと大きく役立つでしょう。

※SAプラス・プログラムに参加の場合、従来の8単位に加えて「体験学修チャレンジ」として2単位が単位認定されます。

(2) SAプログラム (IELTS)

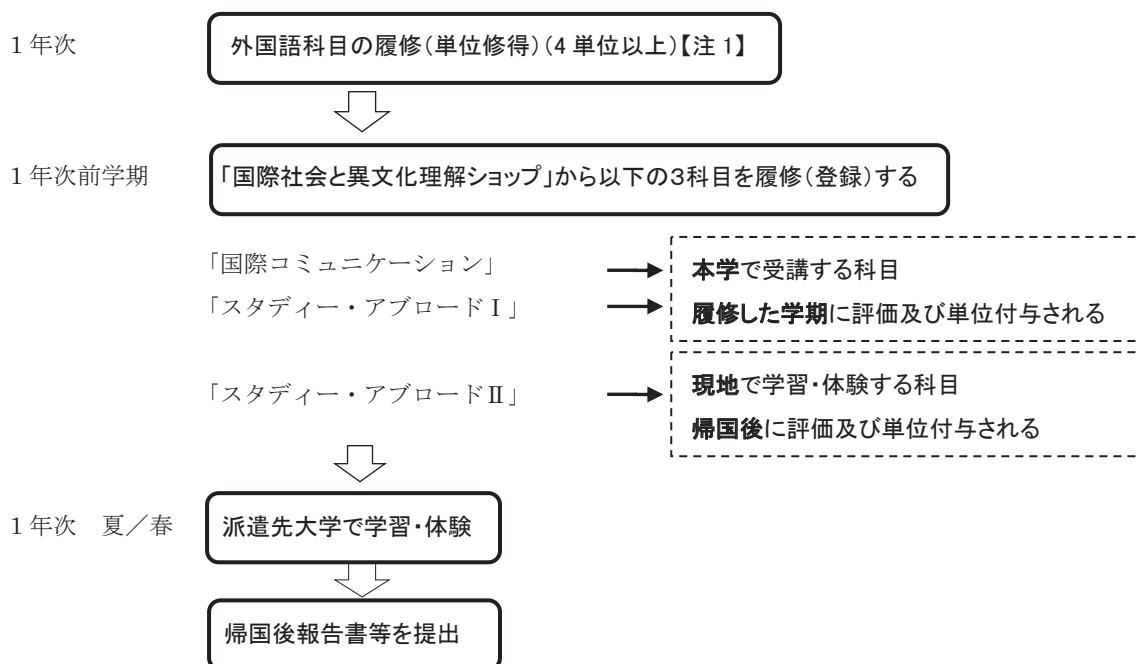
IELTS(International English Language Testing System)は、120ヶ国約6,000の教育機関などが採用しているReading, Writing, Listening, Speakingの4つのスキルを総合的に判断する英語のテストです。

SAプログラム (IELTS) はSAプログラム (グロースターシャー大学・イギリス) と同日程で実施され、中級以上の英語力があれば、SAプログラム (イギリス) で受講する一般英語クラスに加えて、IELTS 対策クラスを受講できるプログラムです。IELTS 対策を海外にて行い、同時に異文化を経験することにより、次のステップとなる留学や、長期留学に必要な語学力のアップへ大きく踏み出すことも可能です。特に独学での対策が難しい Writing 対策も行いますので、自分の弱点を知り、計画的に学習を進めることが可能となります。解き方のコツを身に付けるだけでなく、研修期間中に IELTS を受験し、自分の実力を確認した上で将来の目標の準備を始めましょう。

履修と単位修得については、以下のような流れになります。

<履修の流れ>

[例] **1年次にSAプログラムに参加する場合**



<修得可能な単位> ※各科目の授業内容については『シラバス』を参照すること

- ・「国際コミュニケーション」 (2単位)
- ・「スタディー・アブロードⅠ」(2単位)
- ・「スタディー・アブロードⅡ」(2単位)
- ・「英語 (SA)」(2単位) (たとえば英語圏の場合)
(SA プラス・プログラムは上記に加え「体験学修チャレンジ」(2単位))

注1: SAプログラム参加学期までに希望先言語の外国語科目(4単位以上)について単位を修得していない場合は平塚国際課に申し出てください。

注2: 前学期のSAプログラムに参加する場合には前学期開講科目の履修(登録)、後学期に参加する場合には後学期開講科目の履修(登録)が必要です。

注3: 3年次以上の学生もSAプログラムに参加可能ですが、その前提となる単位修得・履修については上記注1・注2と同様です。

注4: SAプログラムの詳細な内容や単位修得については、本履修要覧の「専攻科目卒業要件単位数」(p.77, 121)、経営学部「Global Consciousness」と「SAプログラム募集要項」(平塚国際課で配付)を合わせて参照してください。

スタディー・アブロード・プログラム (SAプログラム)

国	大学名	学習内容	実施時期
アメリカ	カンザス大学 University of Kansas	午前中は少人数制のクラスで英語やアメリカの文化・社会について学び、午後はローレンス市内の施設見学や地域の方たちと交流するイベントなどを通して、アメリカの文化を肌で感じ取ることができます。滞在は、キャンパス内の学生寮でカンザス大学の学生がルームメイトとなります。また、期間中にホームステイもあり、アメリカの家庭生活も体験することができます。週末には州内の都市等への小旅行があり、また、全米学生バスケットボールの強豪チームとして有名なカンザス大学のゲーム観戦に参加するチャンスもあります。	出発は2月上旬で、約30日間滞在する。 (プラスプログラムは、7週間)
カナダ	ビクトリア大学 University of Victoria	語学研修については、開始時にプレイメントテスト (Listening Comprehension 及び Reading Comprehension) を行い、クラス編成の参考とします。クラスは、日本の他大学から来る学生との合同となります。指導の目標はコミュニケーション能力の育成です。 ブリティッシュ・コロンビア州の州都であるビクトリアは、美しく豊かな自然に恵まれた町で、観光地でもあります。英国をはじめ様々な移民のもたらした文化を大切にし、多文化共生社会となっています。カナダでもトップクラスの大学で、午前中は英語を学び、午後は市内観光、施設見学などの課外活動を通して、先住民族文化や現代カナダの生活、食文化などを学びます。週末にはオプションで、様々なアクティビティ (Whale watching やバンクーバーへの小旅行など) に参加することができます。	出発は8月上旬で、約30日間滞在する。
イギリス	グロースターシャー大学 University of Gloucestershire	グロースターシャー大学がある町チェルトナムは、コッツウォルズ地方の端に位置し、自然と町並みのバランスが取れた落ち着いた雰囲気、イングランドの伝統的な暮らしが楽しめます。午前中は英語の授業で、週に3回は午後にイギリス文化 (ロイヤルファミリー、音楽、スポーツ、食など) を学ぶクラスがあります。紀元1世紀に建てられた古代ローマ風呂跡があるパースや、オックスフォード大学で有名なオックスフォードなどにもアクセスが良く、また、期間中に、世界的な大都市でもあるロンドンも十分に堪能することができます。 語学研修については、開始時にプレイメントテストを行い、スペイン・イタリア・中近東等、世界各地から集まった学生達と合同で授業を受けます。研修中はすべてホームステイ (1日2食、週末は3食) で過ごします。小規模な学校ですが、それだけに家庭的な雰囲気や様々なイベントも開催されます。	出発は8月上旬で、約30日間滞在する。
オーストラリア	クイーンズランド工科大学 Queensland University of Technology	クイーンズランド工科大学のあるブリスベンは、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた大変治安の良い町です。どこへ行くにも交通の便の良い市内には、植物園、動物園、美術館、劇場などがあり、オーストラリアの文化、歴史、自然を学ぶのにも最適の場所です。午前、午後とも英語の授業があり、午後には課外活動を通して生きた英語を学ぶ機会もあります。オーストラリアの自然等に親しむため、動物公園等への日帰り旅行を学生が計画し、実行します。	出発は8月中旬で、約30日間滞在する。
中国	北京師範大学 Beijing Normal University	午前中は中国語学習、午後は種々の体験学習を行います。 中国語学習は、中国語のレベル分けテストを行い、学生のレベルに合わせ初級・中級・上級のクラスに分かれ授業を行います。クラスは欧米アジア各国の学生と合同の授業を受けます。また、現地の中国人学生との交流の機会もあります。中国滞在中は、参加者各自のテーマに沿って、北京市内で調査などを行います。さらに現地で活躍するOBを訪問したり、日系企業のオフィスや工場への見学を行い、中国でのビジネスについて学ぶ機会をもうけます。午後の活動内容は参加者の希望を反映させて決めます。	出発は7月下旬で、約30日間滞在する。
オーストリア	ウィーン大学 Universität Wien	最初に簡単なテストをし、レベル分けされたクラスで4週間 (週15時間) ドイツ語を学びます。 ウィーンはモーツァルトやベートーベンが活躍した音楽の都として有名ですが、神聖ローマ帝国の首都として、またオーストリア・ハンガリー帝国の首都として栄えた古い歴史のある街です。街の周囲は森に囲まれ、ドナウ川がゆったり流れる自然に恵まれた環境にあります。町の中心部リング通りは、国会議事堂や市庁舎の他にオペラ座やブルク劇場などの文化施設が立ち並んでいますが、その一角にヨーロッパの名門ウィーン大学があります。 研修期間中は、ウィーン近郊を訪れる小旅行に参加することができます。	出発は8月上旬で、約30日間滞在する。
フランス	リヨン・カトリック大学 Université Catholique de Lyon	リヨン・カトリック大学のあるリヨンは、フランス南東部に位置する第二の都市で、山や平野など変化に富んだ地形に恵まれ、チーズやワインに代表される農業、そして絹や薬、電気などの工業においても有名です。また、古くはローマ帝国の時代からヨーロッパ有数の交易市として栄えた都市で、昔の街並みを残した都市建築はユネスコにより世界遺産都市として指定されています。 リヨン・カトリック大学が実施する夏期フランス語学・文化講座プログラムでは、このような歴史的・文化的に恵まれた環境の中での課外活動を含め、外国人への教育経験豊富な講師により、ビデオ、新聞、マンガ、文学などを使用した多様な語学教育が提供されます。また研修期間中には、バリ小旅行も実施可能です。	出発は8月上旬で、約30日間滞在する。
スペイン	メネンデス・ペラーヨ国際大学 Universidad Internacional de Menéndez Pelayo	スペイン北部の港町サンタンデルで、スペイン語学習と同文化の理解を深めていきます。大学内は、ヨーロッパを中心とした世界各国からの学生も多く、友好を温めることができます。また、ホームステイでの体験や町での開放的なスペイン人たちとの接触を通し、彼らの生活文化に親しむこともできます。 メネンデス・ペラーヨ国際大学は、1932年に設立され、外国人のためにスペイン語及び同文化を教育する夏期国際大学として始まりました。今日では、多彩なコースのある総合大学へと発展しています。午前中はスペイン語、午後は歴史、文化、経済、美術史などの講義が用意されています。また、課外活動では、演劇、映画、舞踏、料理、市内散策に参加できます。オプションで、近郊の古都市への小旅行もできます。	出発は8月上旬で、約30日間滞在する。
韓国	東西大学校 Dongseo University	東西大学校のある釜山は、ソウルに次ぐ大都市で、韓国の中でも代表的な国際都市です。国際貿易港としての機能も果たしているだけでなく、歴史ある寺院や美しい海などがあり、観光地としても有名です。東西大学校は1965年に東西学院として創立され、現在では、14学部1万人の学生を擁する総合大学で、世界21カ国80大学と学術交流協定を結んでいます。研修では、午前・午後に韓国語の授業、授業終了後また週末を利用して韓国文化とふれあう活動に参加する予定です。この研修は、東西大学校が世界中に募集するオープンプログラムに参加する形をとっているため、あらゆる国の学生と触れ合うことができます。また、研修期間中には慶州・ソウルへの小旅行なども実施する予定です。	出発は3月上旬で、約30日間滞在する。

【ビジネス・スタディー・アブロード・プログラム】

BSAP (Business Study Abroad Programme) は、経営学部が提携する海外大学、主としてマレーシアの大学への1年にわたる長期派遣プログラムです。英語を学ぶことはもちろん、英語で広く経営学を学ぶことを目的としています。

プログラム参加には語学力、学業成績、面接などの学部内審査があり、合格した学生が参加できます。派遣先で修得した単位は、本学の卒業要件単位として認定され、派遣期間を含め4年間で卒業することが可能です。

マレーシアは親日国家であり、穏やかな国民性と多民族国家ならではの国際性、グローバルな人材が各国から集まるアジア新興国の一つです。多国籍の教員や学生が共通語としての英語を用いて努力しながら交流する大学キャンパスは、グローバル人材に必須の資質である国際感覚を養うために最良の場と言えます。また、学生寮での生活は、真の意味で異文化を理解するチャンスになるでしょう。緊急時には日本語での対応も用意されており安心です。

原則として派遣先の大学寮に入り、渡航費、寮費、食費を含めた1年間の滞在生活費用は個人負担となりますが、派遣先大学の授業料は神奈川大学が負担します。

派遣のタイミングは、4月と10月ですが、派遣先との関係で派遣時期には多少のずれが生じることもあります。1年次生の場合は10月派遣のみですが、2年次生以上は、本人の単位修得状況と学修の関心に応じて、どちらの派遣時期を選んでも構いません。

TOEFL[®]のスコア、学業成績、面接結果を総合評価することにより派遣学生を選考します。TOEFL-ITP[®]のスコアの最低基準は450点程度です。10月派遣の場合、480点を超えない場合には、その基準を満たすまで語学コースで学習することになります。

*2017年度は49名の学生が派遣され、勉学に一生懸命励んでいます。

<提携大学紹介>

●AIMST大学 AIMST University [URL] <http://www.aimst.edu.my/>

—ペナンから陸路で約1時間半 ケダ州の大自然のなかで学ぶ—

キャンパスのあるケダ州はマレー半島北部の西側の州（州都アロー・スター）で、最寄りの都市は日系企業も多く進出するスガイ・ペタニ。隣接するペナン州の州都ペナンからは、高速道路経由、約1時間半でアクセスできます。

創立者で総長を務めるサミー・ヴェル博士はインド系マレーシア人で、中央政府の重鎮的な政治家でもあります。大学は貧困層を含めた幅広い層に高等教育を提供するという趣旨で2001年に設立され、医学や薬学などサイエンス系を中心にビジネス&マーケティングなど計26コースの幅広い専攻を備えています。

キャンパスの国際化にも熱心で、神奈川大学をはじめ英国やオーストラリア、さらにはパキスタンなどからの留学生が学んでいます。学生総数3500名に占める留学生は、約18か国から80名以上（2017年12月現在）。

●マルチメディア大学 (MMU) Multimedia University [URL] <http://www.mmu.edu.my/>

—IT企業が集まるサイバージャヤとマレーシア発祥の古都マラッカ—

欧米諸国ではなく日本や韓国の経済成長に範を求めた「東方政策 LookEastPolicy」。提唱者のマハティール元首相（在任1981 - 2003）は一方で、国内向けに「マルチメディア・スーパー・コリドー (MSC) 計画」を推進。IT産業育成により、従来の労働集約型産業から知識集約産業へ産業構造を転換、2020年の先進国入りをめざすというものです。その一環で整備された新興都市サイバージャヤに1999年、国内通信最大手のテレコム・マレーシアが設立したのがMMUです。

サイバージャヤはクアラルンプール (KL) 中心部とKL国際空港の間に位置するインテリジェント都市（新行政首都プトラジャヤに隣接）。世界各国から名だたるIT企業が集まっています。

MMUはマラッカにもキャンパスを擁し、IT関連を中心にビジネス&ローなど幅広いコースを展開。学生総数1万4533名に占める留学生は、57か国から1126名（2017年12月現在）。